資料3-5（差し替え）

重点事業の概要について



①こども意見ファシリテーター養成講座

複数のこども・若者と対話するグループファシリテーションができる人材の養成を目的とした、こども家庭庁主催の講座を生駒市で開催。こどもは権利の主体であり、こどもに関係することについて、当事者たるこどもの声を聴くことが重要である旨やこどもの声の聴き方について学んだ。

受講者：１３名



②管理職研修

こども家庭庁職員による生駒市管理職職員向けの研修。こども・若者の意見を聴き、政策に反映する意義や理由について、理解を深めることを目的に、こども・若者の意見を聴く背景、こども・若者の意見を聴く意義、意見聴取の方法や他自治体の事例等について講義。

受講者：４５名



③子育て応援サポーターの養成

民生・児童委員地区会議と、自治会市政研修会において「こどもの今」というテーマで出前講座を開催。生駒市こども計画策定プロセスで収集した各種データやこどもへのアンケート結果などを共有。

参加者：１８２名（民生委員・児童委員、自治会長）



④地域の居場所の周知

既存のこどもの居場所を周知するために、市ホームページに「こどものいばしょページ」を作成・公開。「こどもならだれでも、『行きたい』と思ったら自分で決めて行くことができる」、「こどもが一人でもむりょうまたは少ないお金でりようできる」、「おとなやわかものなど、こどものようすを見守る人がいる」の3要件を満たす地域の居場所を掲載。

小学生６，３６０名、中学生２，９５０名に配布した「こども計画こども版リーフレット」にて地域の居場所を案内。

市ＨＰ▲



⑤親子関係を見直すヒントを学ぶセミナー

保護者をはじめとする大人が、自分の考えや価値観を一方的に押しつけるのではなく、こどもの声に耳を傾け、尊重し合える関係を育むことを目的に実施。子育てのモヤモヤしたシーンを振り返るペアワークにより自身（保護者）やこどもの価値観に気付く、こどもの権利を知り、ペア対話により日常を権利の視点で振り返る、グループ対話により、自身（保護者）・こども双方の価値観に思いを馳せることなどを内容とする２回連続講座。

参加者数：１７名（延べ）



⑥家族留学

若い世代が、市内で子育て中の家庭に半日訪問し、こどもと遊んだり受け入れ家庭との対話を通して、自分らしい人生を描くためのヒントを得ることを目的にした事業。

参加者数：１名
受入家庭：１組（保護者２名）

市ＨＰ▲



⑦ヤングケアラーに関する調査

県内の学校の児童生徒に対して、家庭で行っている本来大人が担うべき家事や家族の世話の状況について調査し、その状況を把握するとともに、必要に応じて支援を行うことを目的に実施。県が児童・生徒にWebアンケートを実施し、ヤングケアラーの可能性がある場合に、各学校で面談を実施。



⑧こども委員会

市政にこどもの意見を反映する仕組みとして「生駒市こども委員会」を設置し、こどもに意見を聴きたい案件がある担当課と連携し、「公園・自然の中での外遊び」「ごみを減らす」の２つのテーマで開催。

参加人数：４３名（延べ）

報告書▲



⑨こども食堂づくり実践講座

座学だけでなく、こども食堂のトライアル実施など、講座の参加者同士でこども食堂を立ち上げることを目指す実践的な講座。

講座修了者１５名の他、小学生とその保護者が講座に参加。

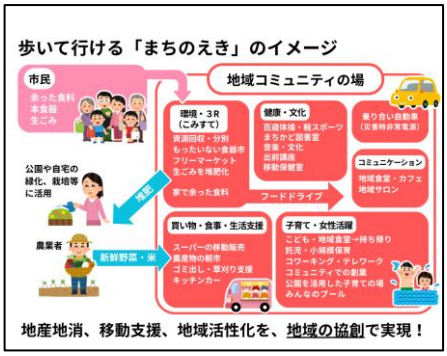
講座の様子▲



⑩スクールメイキングプロジェクト

こども達が身近な社会を自らの力で変えられる実感を得ることを目的に、学校生活に関するルールや取組などを、こども自身が先生や大人と対話しながら見直し提案する取組。

（プロジェクトメンバー）
生駒南中学校　　：生徒１２名、教員１名
奈良北高校　　：生徒６名、教員４名
（中学校向け研修参加者）
生徒会生徒向け　：市内８校・４０名弱
生徒会・生徒指導担当教員向け：市内７校・１１名



⑪複合型コミュニティ（まちのえき）づくりの推進

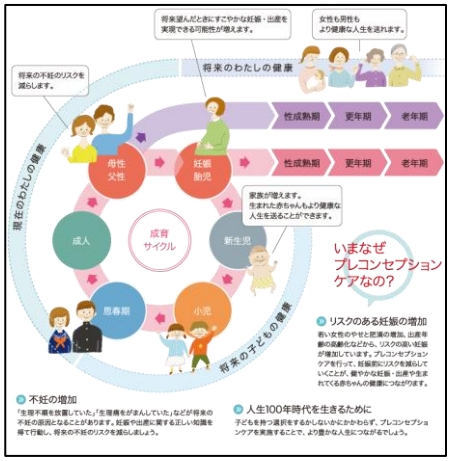
集会所や公園など、住民が歩いて行ける身近な地域拠点において、新たに場づくり活動に取り組む自治会等に対し、補助金による支援をはじめ、行政が提供可能な各種支援サービスや、民間事業者等とのマッチングを通じて、活動の立ち上げから継続的な運営までを一体的に支援。



⑫放課後子ども教室等の、空き教室の活用

放課後に小学校の多目的室や図書室を利用し、子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、地域住民等の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として、学習や体験・交流活動などを行う。

放課後こども教室参加児童数：５，７２７名（延べ）



⑬プレコンセプションケアの推進

性や妊娠に関する正しい知識を身につけ、ライフプランを考える機会の提供として、市ホームページにプレコンセプションケアに関するページを新規開設。

アクセス数（令和８年１月～３月）：１３５件

市ＨＰ▲

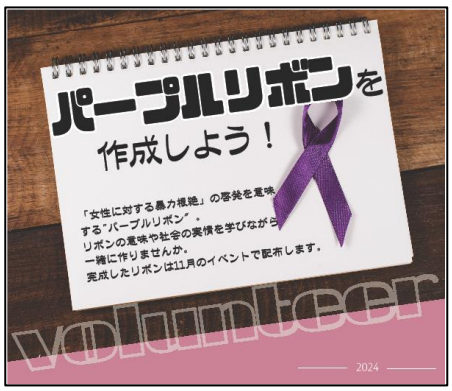


⑭「こども計画こども版リーフレット」の配布

こどもの権利についてこども向けに分かりやすく記載した「こども計画こども版リーフレット」を市内公立小中学校に通うすべての児童・生徒に配布。

小学生６，３６０名、中学生２，９５０名に配布

リーフレット▲



⑮奈良県と連携した性と生殖に関する健康と権利（SRHR）等を知る機会の充実

女性の人権の尊重にかかる意識啓発や教育の充実を図るため、全国的に展開される「女性に対する暴力をなくす運動」期間（パープルリボンキャンペーン）で、SRHRにかかるパネル展示等を行った。



⑯いばしょ支援ステーションGIFT

ひきこもり状態から一歩を踏み出し居場所を利用する者が、他の利用者やスタッフとコミュニケーションを図り、相談支援や他の社会資源への参加支援につなげるための連携を図ることで、生きることに希望を持ち、社会とのつながりを持つことを目的とし運営。

利用延べ人数は５１４名。



⑰ライフデザインセミナーの開催

中高生世代を対象としたセミナーを奈良県と共催。講師によるミニレクチャー、進学・就職・結婚・子育て等のライフイベントをすごろくで疑似体験しながら考える「人生すごろく」、人生年表の作成を行った。

中学生６名が参加。セミナー実施後のアンケートでは、将来について考える機会になったという旨の声が聞かれた。



⑱民間学童保育施設の誘致

特定非営利活動法人三楽から申し出があり、４月１日から運営を開始し、補助金交付などで運営を支援。生駒中央放課後児童クラブが令和７年４月１日に開設された。

生駒中央放課後児童クラブの定員：１２名、縦割りグループのなかで話し合い役割分担を決め活動する等、こどもの自己決定を尊重する方針を掲げている。

市ＨＰ▲